

★実用書ご担当者さまへ★

本日 9/14 読売新聞 (東京本社版) 朝刊くらし面で紹介されました!

## 「時間差ごはん読本」 あとで食べる家族のために、時間がたってもおいしいおかず 61品

「夕飯は家族そろって食べる」のが理想ですが、残業や子どもの塾通いなどで、全員一緒に食べるのは、なかなか難しいのが現状です。料理は作ってから時間がたつと、味が落ちがち。でも「作りたてを食べてもらいたいから」と、家族が帰ってくるたびにキッチンに立つのも大変です。それを解消する“時間差ごはん”。材料や調理にひと工夫することで、時間がたってもおいしさをキープできるおかずです。



- 定価 本体 602 円+税 ■ISBN:978-4-86586-032-0
- B5判 80 ページ ■2017年6月20日刊行
- ※小冊子です。ぜひ平積みや面出しをお願いいたします。

### 【9月新刊も併せてご販売をお願いいたします】



#### 『そのまま食べる作りおき』

「冷蔵庫から出してすぐに」食卓に並べられるもの、「ちよつと温めるだけで」おいしいもの。“そのまま食べられる”作りおきおかずばかりです。

【おすすめの既刊です。よろしくお願いたします。】

#### 『さばかない・おろさない!』

魚のおかず 90  
17年3月刊 3刷 1万6千部

魚を一切さばくことなく、手軽においしく食べられる料理を提案します。



#### 『朝さつと作るお弁当 125』

16年3月刊  
3刷 1万8千部

作りおきしなくてもOK。工夫をこらしたお弁当おかず。



「家族そろって夕食週2日以下」既婚女性の37%  
既婚女性の3人に1人が、「家族そろって夕食をとるのは週2日以下」と回答したという調査結果を、ベターホーム協会(東京)が発表した。別に食べる家族の分も手作りしている人が多いが、「作りおきなので味が落ちてしまう」この悩みもある。調査は6月、インターネットで実施し、20〜60代の既婚女性8658人が回答した。

「週1、2日」という人は24%。「週1日未満」(7%)、「毎日別々」(6%)を合わせると37%にのぼる。別に食べる家族の夕食も手作りしている人が92%で、そのうち6割近くが夕食作りに向かうの悩みを抱えていた。

一緒に食べない家族は夫(80%)が最多。その理由(複数回答)は「夫が仕事で帰りが遅い」が92%で、「自分と子どもが早めの時間に食べる」(15%)、「自分が仕事で帰りが遅い」(4%)を引き離した。76%の女性が作りおきを温め直しているが、「できたてより味が落ちる」と悩む人が65%。「いためものは時間がたつとベチャツとする」揚げ物は揚げたてがおいしいが、2度に分けて揚げるのが面倒」といった声も寄せられた。

「家族そろって夕食週2日以下」既婚女性の37%

「自分が仕事で帰りが遅い」(4%)を引き離した。76%の女性が作りおきを温め直しているが、「できたてより味が落ちる」と悩む人が65%。「いためものは時間がたつとベチャツとする」揚げ物は揚げたてがおいしいが、2度に分けて揚げるのが面倒」といった声も寄せられた。

注文 FAX : 03-3407-1044 ベターホーム協会

お問合せ・ご注文先 小幡(おばた)  
〒150-8363 渋谷区渋谷 1-15-12  
TEL 03-3407-4871

貴店名	冊	時間差ごはん読本 ¥602 (本体) 小冊子 978-4-86586-032-0 B5判 80頁
	冊	そのまま食べる作りおき ¥1,200 (本体) 978-4-86586-033-7 B5判 112頁 並製
	冊	さばかない・おろさない! 魚のおかず 90 ¥1,000 (本体) 978-4-86586-030-6 B6判変型 192頁 並製
ご担当者様名	冊	朝さつと作るお弁当 125 ¥905 (本体) 978-4-86586-020-7 B6判変型 192頁 並製

※取次はトーハンです。トーハン以外は、地方小出版流通センター経由となります。

☆既刊注文一覧書 → 要・不要